

2015年7月14日

下村博文 文部科学大臣殿
河野一郎 独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長殿

神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会
info@2020-tokyo.sakura.ne.jp
http://2020-tokyo.sakura.ne.jp

新国立競技場現行案に関する公開質問状

時下、ますますご清祥のことと存じます。

さる7月7日の国立競技場将来構想有識者会議におきまして、総工費2,520億円の現行案が了承されました。しかし、当会「神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会」は、この結果に納得することができかねます。

つきましては、下村博文大臣と河野一郎理事長に下記12点をお尋ねします。

お手数ですが、7月28日までにご回答くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この質問状は、46,000人超の賛同人はじめ、多くの国民の疑問を背景にしておりますので、質問事項と回答内容を当会のホームページなどで公開するとともに、マスコミにも告知いたします。

1. 現行案を変更できない理由「国際公約違反」について

変更すると「国際公約違反になる」とのことですが、国際オリンピック委員会 (IOC) のジョン・コーツ副会長は「変更したいのなら、できる」と言っています(『毎日新聞』7月1日)。

IOCが許可しているにもかかわらず、国際公約違反になるという根拠を教えてください。

2. 現行案を変更できない理由「違約金や訴訟の可能性」

変更すると違約金が発生したり、訴訟になるとのことですが、違約金と訴訟になった場合の費用の試算を教えてください。また2014年9月25日の自民党無駄撲滅プロジェクト・チームのヒアリングで約束されたザハ・ハディオ氏との契約書を公開してください。

3. 現行案を変更できない理由「間に合わない」

変更すると間に合わないとのことですが、日本スポーツ振興センター (JSC) の鬼澤佳弘理事が発表した代替案の工期は「設計19ヶ月＋工事42ヶ月＝計61ヶ月なので間に合わない」(TBS『ひるおび』7月13日)と報道されています。この工期は誰がどのような根拠で試算したのか、教えてください。

4. 現行案の評価について

現行案の評価について具体的にご説明ください。下村大臣は、国際コンクールでザハ案を選んだ安藤忠雄委員長に「なぜ、ザハ氏の案を選んだのか、説明してほしい」(『産経新聞』7月10日)と言っていますが、文部科学省とJSCは計画当事者でありながら、現行案の評価を把握していないのでしょうか。

5. 計画当事者の意思疎通について

有識者会議の委員で国際コンクールの審査委員長でもあった安藤忠雄氏は、この計画が社会問題化してから、一度も公の場で発言していません。7月7日の有識者会議も欠席しました。下村大臣は「安藤さんに発言してほしい」と呼びかけましたが(『産経新聞』7月10日)、マスコミを使って呼びかけなくてはならないほど、文部科学省やJSCと安藤氏の間では、意思疎通ができないのでしょうか。

6. 総工費について

総工費は、今後も増える見込みがあることを、JSCの■氏が答えたと報道されていますが(『■』月日)、ほんとうの総工費は一体いくらになるとお考えでしょうか？

今回別工事となった開閉式遮音装置、15,000人分の可動席、さらに未だ明らかにされていないと言われる地下の基礎工事や残土処分を含んだ金額を教えてください。

また増額分の費用をどのように捻出するのかも教えてください。

7. デザインの特殊性

総工費のうち、765億円は現行案のデザインの特殊性によるとのことですが、特殊性とは具体的に何を指すのか、その特殊性がなぜ必要なのか、765億円の内訳もあわせて教えてください。

またこの特殊性を少しでも軽減していく予定はありますか。

8. 大規模修繕費について

今回の会議で、現行案の大規模修繕費が当初試算の656億円から1046億円に増えることが明らかにされましたが、差額の約400億円は何を意味するのか、内訳とともにご説明ください。

9. 現行案で間に合わなかった場合

「工期に余裕は一切ない。一度でも天変地異が起きれば、間に合わなくなる可能性がある」(ゼネコン幹部の証言)と報道されています(『朝日新聞』7月11日)。万一、新国立競技場の建設が間に合わなかったときのことは想定されていますか？その場合、腹案として東京都と近郊にあるスタジアム(横浜、埼玉、調布、駒沢等)を活用するお考えはありますか。

10. 事業主体の組織改革

下村大臣も言われるとおり、このような悲惨な事態を招いた原因の1つは「JSCの能力を越えた」からだと考えられます。今後JSCはしかるべき責任を取って計画当事者から退き、大型の公共事業を監督できる別組織やリーダーが必要であると考えますが、組織改革の予定はありますか。

11. デザイン選考の検証について

下村文科相は、国際コンクールの「デザイン選考について検証する考えを表明した」と報道されています(『共同通信』7月10日)。具体的な検証方法、検証期間、検証者、公表の時期と方法を教えてください。

12. 国民の理解について

今回の現行案了承について、意識調査では、95%が「現行案での建設に反対」と回答しています(『読売新聞』7月10日)。今後、計画を進めていく上で、文部科学省とJSCは国民の共感を得るために、どのような方法で情報開示と市民参加を促していくのでしょうか。